

特116

485

新 最
式 書 業 商
卷 上

著 補 龜 間 楠

社 明 文 京 東
行 發



始



特116

485

新 最
式 書 業 商
卷 上

著 楠 龜 間 楠

社 明 文 京 東
行 發

露光量違いの為重複撮影

持116
455

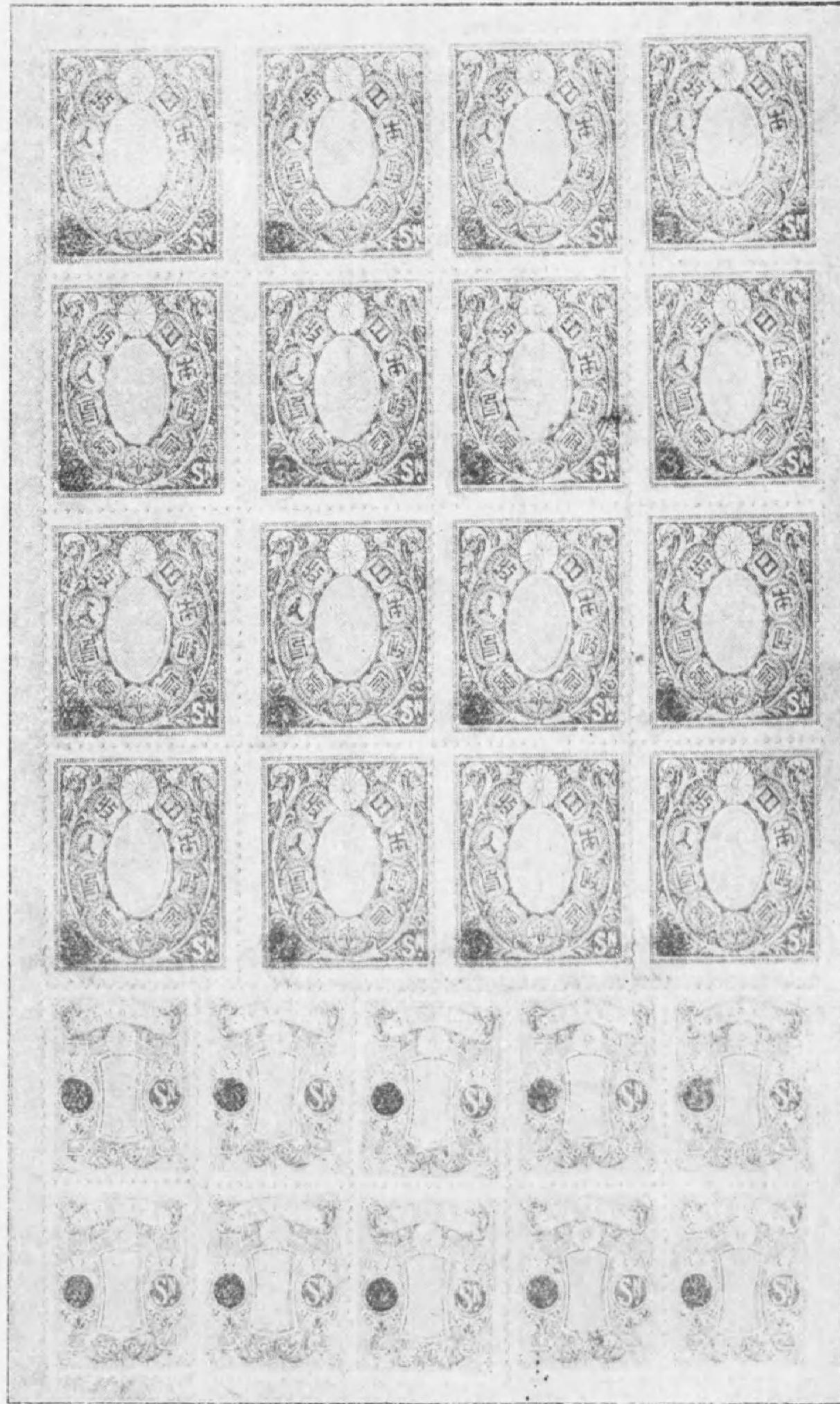


最新商業書式 上巻 目次

一 收入印紙・郵便切手	一
二 商號登記申請書	二
三 商標登録願	三
四 電報頼信紙	四
五 振替貯金加入請求書	一〇
六 振替貯金拂込用紙	一三
七 拂出票	一五
八 爲替手形	一八
九 約束手形	二二
一〇 小切手	二四

大正
12. 5. 23
内交

持116
485



最新商業書式 上巻 目次

一 收入印紙・郵便切手	一
二 商號登記申請書	二
三 商標登録願	三
四 電報積信紙	四
五 振替貯金加入請求書	一〇
六 振替貯金拂込用紙	二〇
七 拂出票	二五
八 爲替手形	二八
九 約束手形	三三
一〇 小切手	三四

大正
12.5.23
内交

七圓
印紙

商業登記申請書

一 登記ノ目的 商號新設登記

一 登記ノ事由 商業ヲ營ム爲商號ヲ新設シタルニヨリ本店ノ所在地タル當所ニ於テ左ノ事項ノ登記ヲ求ム

- 一 商號
- 一 營業ノ種類
- 一 營業所
- 一 商號使用者ノ氏名住所
- 一 登録稅額

右登記相成度此段申請候也

大正 年 月 日

申請人

區裁判所判事

殿

參圓
印紙

商標登錄願

見本

私儀前揭商標ニ付登錄相受度此段相願候也

大正 年 月 日

本籍
住所
職業

出願人

特許局長

殿

電報 報 賴 信 紙

送 信 時 分	著 局	第 午 時 分	報 號 分 字	郵便切手貼付及日附印押捺場所		電報料	取特料	受 信 人 居 所 名 氏	指 定	發 信 人 居 所 氏 名 を 受 信 人 に 知 ら す る 必 要 あ る と き は 此 處 又 は 本 文 の 終 へ 片 假 名 に て 記 す こ と
				書方注意 文字はハツキリと 見難に書くと 見誤ります 数字は大きく 小さいと假名 と間違ひます 宛所は判りよく 判りにくい配達 がてまどります						
送 信 時 分	著 局	第 午 時 分	報 號 分 字	郵便切手貼付及日附印押捺場所		電報料	取特料	受 信 人 居 所 名 氏	指 定	發 信 人 居 所 氏 名 を 受 信 人 に 知 ら す る 必 要 あ る と き は 此 處 又 は 本 文 の 終 へ 片 假 名 に て 記 す こ と

●マとコ、ユとエ、レとン、又とス、フとク、ワとツ、ニとニ、ハとハ等は書方にて間違ひ易し

●取扱上不都合の廉あらば口頭又は無料郵便にて申越されまし

●ところけあ字一は下の字文音濁半音濁●



大正 年 月 日
 被成候也
 右金額此切手持参人、御拂渡可
 御中
 銀行

御中

大正 年 月 日

被成候也

右金額此切手持参人、御拂渡可

一金

B

小切手

第	號	
	金額	摘要
大正 年 月 日		

銀行

大正 年 月 日
金 額
受取人

金

銀行

大正	年	月	日
金	額		
受取人			

表面之金額

又ハ同人指圖人へ御支拂可被成候也

殿

大正 年 月 日

表面之金額正ニ受取候也

大正 年 月 日

受取人



表面之金額

又ハ同人指圖人へ御支拂可被成候也

殿

大正 年 月 日

表面之金額

又ハ同人指圖人へ御支拂可被成候也

殿

大正 年 月 日

表面之金額

又ハ同人指圖人へ御支拂可被成候也

殿

大正 年 月 日

表面之金額

又ハ同人指圖人へ御支拂可被成候也

殿

大正 年 月 日

表面之金額

又ハ同人指圖人へ御支拂可被成候也

殿

大正 年 月 日

表面之金額正ニ受取候也

大正 年 月 日

第 號

收入
印紙

約束手形

一金

右金額貴殿又ハ貴殿ノ指圖人へ此
手形引換ニ無相違支拂可申候也

振出地

支拂期日

支拂場所

大正 年 月 日

住所

振出人

殿

受取人	金額	所場拂支	號 番
		日期拂支	日出振
		大正 年 月 日	大正 年 月 日

支拂人	支拂人	金額	年月日

<p>表面之金額</p> <p>又ハ同人指圖人へ御支拂可被成候也</p> <p>大正 年 月 日</p> <p>殿</p>	<p>表面之金額</p> <p>又ハ同人指圖人へ御支拂可被成候也</p> <p>大正 年 月 日</p> <p>殿</p>	<p>表面之金額</p> <p>又ハ同人指圖人へ御支拂可被成候也</p> <p>大正 年 月 日</p> <p>殿</p>	<p>表面之金額</p> <p>又ハ同人指圖人へ御支拂可被成候也</p> <p>大正 年 月 日</p> <p>殿</p>	<p>表面之金額正ニ受取候也</p> <p>大正 年 月 日</p>
---	---	---	---	------------------------------------

東京交換所撰定

第 號

收入
紙印

爲替手形

一金

右金額
殿又八同人指圖
人へ此手形引換ニ御支拂可被成候也

支拂地

支拂期日

大正 年 月 日

引
大正 年 月 日
支拂場所

受

支拂人	受取人	金額	支拂地	番號
			支拂期日	振出日
			大正 年 月 日	大正 年 月 日

金額	受取人	支拂人

通 信 文 記 載 欄

注 意

- 一 此の用紙は加入者の請求に依り其の所屬の口座所管廳より之を交付するものとす
- 一 加入者に於て自己の貯金を拂出し之を他の加入者の口座に振替へむとするときは此の用紙中拂出票及拂出通知票相當の部(捺印を附しある箇所)に拂出金額、請求年月日振替拂込を受くへき加入者の口座番號及氏名竝に自己の氏名(拂出請求人)を記載し調印(拂出請求人)の上拂込を受くへき加入者へ通信を要するものは拂出通知票裏面相當欄に通信文を記載し拂出票及拂出通知票接續の儘之を控の部より切り離し所屬の口座所管廳に送付せらるへし但し其の封筒には表面餘白に通信事務と附記し別に郵便切手を貼付するに及はず
- 一 加入者に於て自己の貯金を拂出し自ら其の現金を受領し若は他人に之を拂渡さむとするときは此の用紙中拂出票及拂出通知票相當の部(捺印を附しある箇所)に拂出金額請求年月日現金受領者の住所氏名及拂渡郵便局所名竝に自己の氏名(拂出請求人署名)を記載し尙金額記載の下部餘白に現金拂の文字を附記し調印(拂出請求人)の上受取人へ通信を要するものは拂出通知票裏面相當欄に通信文を記載し拂出票及拂出通知票接續の儘之を控の部より切り離し前項の例に依り所屬の口座所管廳に送付せらるへし
- 一 此の用紙中控の部には加入者に於て拂出金額請求年月日其他必要事項(何地何某へ何々代金として現金拂渡の爲め又は第何番何某の口座へ振替の爲め拂出等の如き)を記載し自己の手許に保管し置かるへし
- 一 拂出票及拂出通知票に記載すへき金高及請求年月日等は其の字體を明瞭に正確に記載し一二三十の數字は壹貳參拾の文字を用ひらるへし
- 一 此の用紙を盗用せらるゝときは貯金を詐取せらるゝ虞あるにつき紛失又は盗難に罹らざる様加入者に於て嚴重に之を保管せらるへし

控	
※ 一金	日請求 附求 ※大正 年 月 日 用紙 番號

拂出通知票			
定	指	※ 一金	口座振替を要するときは 口座振替 現金拂渡を要するときは 口座振替 口座振替を要するときは 口座振替 現金拂渡を要するときは 口座振替
		氏名 住所 加入者 番口座	口座加入者氏名 住所氏名
		印附日總管所座口	

拂出票			
定	指	※ 一金	前記金額左記指定ノ通拂出相成度候也 ※大正 年 月 日
		氏名 住所 加入者 番口座	口座加入者氏名 住所氏名
		印附日總管所座口	

振第八號

※ 印を付しある部は拂出請求人に於て記載せらるへし

用紙番號

注意

一 受領票の金高其の他に相違あるときは直に其の更訂を求めらるへし
 一 受領票は振替貯金拂込の證據となるべきものなるにより大切に保管せらるへし
 一 金額を訂正するときは郵便局に於て受付けざるものとす

注意

一 受領票の金高其の他に相違あるときは直に其の更訂を求めらるへし

一 受領票は振替貯金拂込の證據となるべきものなるにより大切に保管せらるへし

一 振替貯金の拂込金には左の割合に依る料金を郵便切手を以て拂込人より徴せらるゝものとす但し「拂込料金加入者負擔」の表示あるものは此の限に在らず

壹圓迄	壹錢	五百圓迄	拾錢
五圓迄	貳錢	千圓迄	拾貳錢
拾圓迄	四錢	五千圓迄	拾四錢
五拾圓迄	六錢	壹萬圓迄	拾六錢
百圓迄	八錢		

壹萬圓を超ゆるときは其の超過額壹萬圓迄毎に四錢を加徴す

通信文記載欄

注意

一 此の用紙は加入者の請求に依り口座所管廳に於て之を賣渡すものとす但し加入者の口座番號氏名の印刷なきものは拂込人の請求に依り郵便局に於て無料を以て交付すへし

一 加入者は自己の口座に對し振替貯金の拂込を爲すへき者に豫め此の用紙を配付せらるへし

一 振替貯金の拂込を爲さむとするときは此の用紙中拂込票、拂込通知票及監査票相當の部(※印を付しある箇所)に拂込金額及拂込人の住所氏名を記載し受領票の部接續の儘現金(又は郵便爲替證書、振替貯金拂出證書、中央金庫に於て支拂はるべき仕拂命令券)と共に郵便局に差出し受領票を受取るへし

一 拂込票、拂込通知票及監査票に記載すべき金高等は其の字體を明瞭に正確に記載し一、二、三、十の數字は壹、貳、參、拾の文字を用ひらるへし若し金額を訂正するときは郵便局に於て受付けさるものとす

一 拂込通知票裏面の通信文記載欄には拂込人に於て拂込金に関する事項は勿論其の他拂込人より加入者に宛てたる各種の通信文を記載することを得るものとす

一 拂込書用紙は加入者に於て自己の口座に専用する爲本書と同一の寸法及印刷を以て之を私製することを得るものとす但し此の注意文は之を印刷せず他の廣告等を印刷するも妨なきものとす

受領票			
拂込人氏名	加入者氏名	口座番号	金額
殿			一金
		印附日局付受	
		口座所管廳日附印	
省 信 遞			

※印を付しある部は拂込人に於て記載せられるべし

拂込通知票			
拂込人住所氏名	加入者氏名	口座番号	金額
※	※	※	※ 一金
		印附日局付受	
		口座所管廳日附印	
省 信 遞			

※印を付しある部は拂込人に於て記載せられるべし

拂込票			
拂込人住所氏名	加入者氏名	口座番号	金額
※	※	※	※ 一金
		印附日局付受	
		口座所管廳日附印	
省 信 遞			

一年保存

※印を付しある部は拂込人に於て記載せられるべし

監査票				
拂込人氏名	加入者氏名	口座番号	金額	局番印
※	※	※	※ 一金	
		印附日局付受		番受 號付
		印付日廳管所座口		
省 信 遞				

六ヶ月保存

287

589

發行所
發賣所

東京市本郷區菊坂町六十九番地
振替口座東京一七〇一六番
東京市日本橋區大傳馬町二ノ二番
振替口座東京一〇六〇番

文明社
文林堂書店



印刷所

株式會社 博文館印刷所

印刷者

東 勇 治
東京市小石川區久堅町百八番地

發行者兼

楠 間 龜 楠
東京市本郷區菊坂町六十九番地

大正十二年四月十二日印刷
大正十二年四月十六日發行

卷上
大正十二年度臨時定價 金貳拾錢

振第七號

受領票

姓名	加入者	番口 號座
氏名		
一金		
殿		
受付局日附印		

通知票

姓名	所住	拂込	※
氏名			
※			
口座所管廳日附印			
省 信 遞			

三印を付しある部は拂込人に於て記載せられるべし

終

